

NICT未来ICT研究所創立30周年



NICTの“関西進出”30年

～先端研究所に生まれ変わった「岩岡の電波」～

はじめに

NICTの前身機関が、神戸・岩岡の地に研究拠点「関西先端研究センター」(KARC)を開設したのは、1989年(平成元年)5月でした。2019年に30周年を迎えます。

関西出身の私は入社3年目で、開設された年に研究者第1陣の1人として東京から転勤し、阪神・淡路大震災をはさんで1997年まで、ここに勤務しました。

30周年を迎えるにあたり、開設された前後の私的な記録をひも解いて、ご紹介することにしました。

公式の記録ではなく私見によるご紹介ですので、正確性に欠けるかもしれない点は、どうかご容赦ください。



30年前の岩岡・大久保かいわい

1988年(昭和63年)～1989年(平成元年)



「岩岡の電波」—近畿電気通信監理局 電気通信部 岩岡監視所



NICTの“関西進出”30年 ～先端研究所に生まれ変わった「岩岡の電波」～

30年前まで、なぜ関西に拠点が無かったのか？ ～東京とほぼ同じ緯度だから～

NICTの前身である郵政省通信総合研究所(CRL)は、電波の伝わり方を観測・研究することを主要な業務としていました。

電波の伝わり方に影響を与える太陽活動は、太陽から飛んでくる粒子が北極・南極を磁極とする地磁気に引き寄せられることにより、**緯度に応じた影響**を地球に及ぼします。緯度の高い極地圏に、太陽からの粒子によって引き起こされるオーロラが現れやすいのも、そのためです。従って**緯度に応じた電波観測拠点が**必要になります。

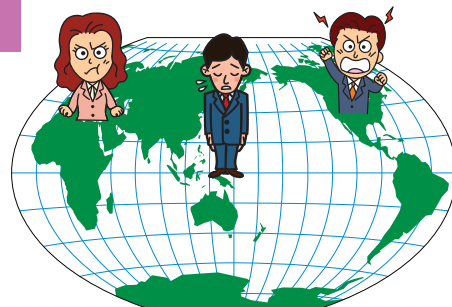
CRLは、北緯25度の沖縄から、北緯45度の北海道(稚内)まで、**約5度ごとに等間隔に電波観測所を**設けていました(図)。それに対して**関西は、CRLの本所(東京都小金井市)とほぼ同じ北緯35度に位置するため、電波観測所を設ける必要がありません**でした。



30年前に、なぜ関西に拠点を新設したのか？ ～「基礎研究タダ乗り批判対策」と「一省庁一機関地方移転」～

昭和時代の末期、高度経済成長が進んだ日本は、貿易摩擦を生じ、欧米などから批判され、「輸出黒字減らし」のために、欧米の技術を応用して製品化するだけでなく、**自ら基礎研究に取り組む**ように外圧を受けました。また当時はバブル経済により、**東京一極集中の弊害**が叫ばれ、国の機関が自ら一部を地方に移転して、集中の緩和が図られました。そのためCRLでも、「**基礎研究を行う拠点**」を、「**東京から離れた場所**」に設けることになりました。

郵政省近畿電気通信監理局(現・総務省近畿総合通信局)は、見晴らしのよい岩岡の地に、電波監視所を設けていました。CRLが関西に拠点を設けるに当たり、当時は**CRLも同じ郵政省に所属して移管しやすかった**ことから、地元で「**岩岡の電波**」として知られていたこの地が選ばれたのです。



「関西」への拡がり

CRLは当時、本所のほかに、茨城県に鹿島と平磯の2つの支所を設けていました。国の組織を増設することは行政効率化の観点から難しかったため、茨城県の2つの支所を組織の上で統合して「関東支所」とし、浮いた1支所分の組織によって「**関西支所**」(KARC)を作った経緯があります(スクラップ&ビルド)。

やがてCRLは国から切り離されて独立行政法人になり、KARCから、けいはんな(関西文化学術研究都市)や吹田市(大阪大学内)に一部の研究チームが移転・拡充され、文字通り「**関西**」に拡がっていったのです。



NICTの“関西進出”30年

1989年

5月29日 開設・先発隊(管理係)着任
(近畿電気通信監理局から継承した庁舎に仮住まい)



10月15日 情報系研究室が東京から移転



Dr. KARC

未来さん

12月5日 発足記念シンポジウム



(NHKニュースより)

1990年

4月16日 着工安全祈願



9月14日
情報通信技術研究交流会
(AC-net) 発足記念講演会



1991年

研究本館(第1研究棟)竣工
物性系、生物系研究室が東京から移転



竣工庁舎引渡し
(1991年8月20日)

竣工式典



(神戸ケーブルビジョンより)

NICTの“関西進出” 30年

1992年

7月31日 初の施設一般公開



(1992年7月16日 NHK「イブニングネットワーク近畿」より)

1993年

生物棟(第2研究棟)
竣工



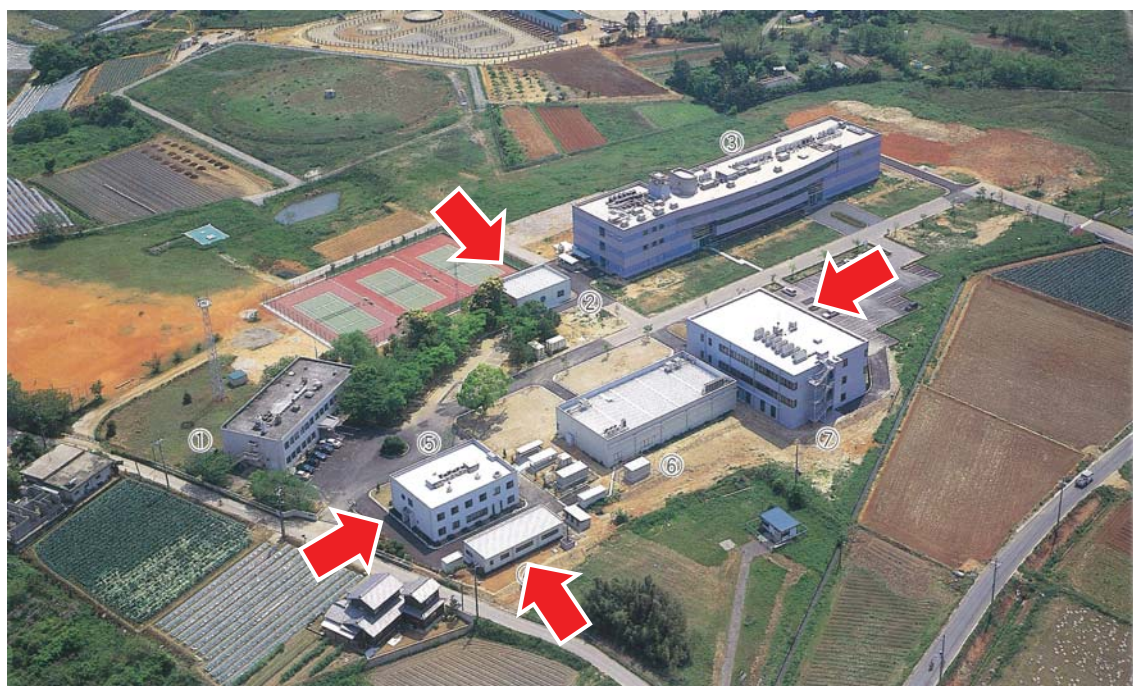
施設一般公開



KARC紹介ビデオ初版

1994年

交流棟(第2研究棟)、
厚生棟、工作棟、
車庫竣工



5月30日
5周年記念式典



施設一般公開

NICTの“関西進出” 30年

1995年

阪神・淡路大震災



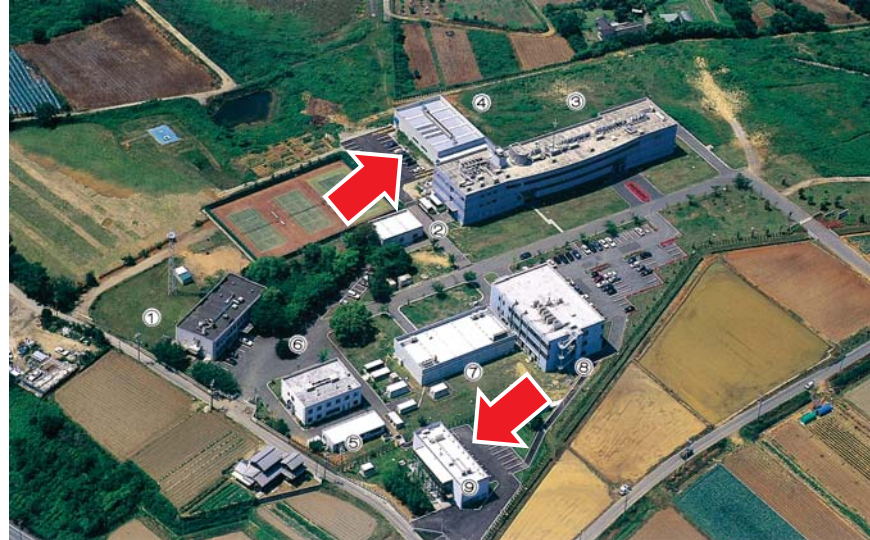
インターネット元年
KARC等による震災情報の発信

KARC職員によるボランティア活動

復旧工事

1996年

クリーンルーム棟、
APII棟竣工



(1997年2月13日 朝日放送より)

脳機能研究棟
(第3研究棟) 竣工

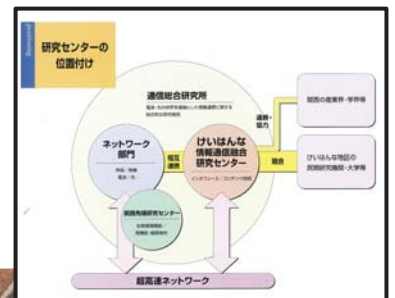


柳田結集型プロジェクト(1999年)



2000年

けいはんな情報通信
融合研究センターが
発足、KARCの情報系
研究室が移転。



2011年

脳情報通信融合
研究センターが発足
(大阪府吹田市・大阪大学内)
KARCの脳情報系研究室
の一部が移転。



明石市大久保町大窪

神戸市西区岩岡町

©Google

近畿電気通信監理局時代の
庁舎が神戸市側にあったた
め、現在も住所は神戸市です